



令和7年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年8月6日

上場会社名 コンピューターマネージメント株式会社
 コード番号 4491 URL <https://www.cmknet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹中 勝昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 吉田 徹 TEL 050 (3508) 9000
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第1四半期の連結業績（令和6年4月1日～令和6年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第1四半期	1,895	12.7	89	34.9	91	35.6	61	33.1
6年3月期第1四半期	1,681	5.5	66	△32.3	67	△32.9	46	△32.4

(注) 包括利益 7年3月期第1四半期 88百万円 (13.2%) 6年3月期第1四半期 77百万円 (27.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第1四半期	30.09	29.80
6年3月期第1四半期	22.64	22.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年3月期第1四半期	4,935	3,204	64.9
6年3月期	4,748	3,197	67.3

(参考) 自己資本 7年3月期第1四半期 3,204百万円 6年3月期 3,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
7年3月期	—	—	—	—	—
7年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和7年3月期の連結業績予想（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	8.4	465	8.9	474	9.1	330	0.8	162.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	7年3月期1Q	2,036,200株	6年3月期	2,036,200株
② 期末自己株式数	7年3月期1Q	216株	6年3月期	216株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	7年3月期1Q	2,035,984株	6年3月期1Q	2,033,511株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引続きインバウンド需要が順調に拡大し、企業の業績も改善傾向が続いているものの、物価高騰や実質賃金減少による個人消費の低迷が続いており、国内景気は横ばい傾向で推移しております。今後は、賃金上昇や経済対策などにより緩やかな回復基調に戻る見通しですが、原材料や燃料費等の資源の高騰、人材不足、地政学リスクの深刻化、世界経済成長の減速などにより、依然として先行き不透明な状況が続く見込みです。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、IT技術者不足の問題はあるものの、生成AIやDX関連、クラウドサービスなどに対する企業のIT投資意欲は継続して高く、堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、新技術基盤開発室を立上げ、生成AIを使用したサービスやアライアンスパートナーとの協業による取組みを強化、ゼネラルソリューションサービス、インフラソリューションサービス、ERPソリューションサービスの3つのサービスラインにおいても、ノーコード・ローコードツール、クラウドサービス、クラウドERPを軸に全国での提案活動を実施し、順調に新規顧客との取引を伸長いたしました。引続き、成長分野への取組みを推進することで収益の進展を図り、新規顧客、既存顧客、高収益案件の受注拡大に向けて、技術力、営業力、コンサルティング力の強化に取り組んでまいります。

なお、当社グループはシステムソリューションサービスの単一セグメントであります。システムソリューション別の概況については、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	ソリューション別売上高		前年同期比 (%)
	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	
ゼネラルソリューションサービス	1,117,176	1,236,506	110.7
インフラソリューションサービス	339,129	382,910	112.9
ERPソリューションサービス	224,914	275,975	122.7
計	1,681,219	1,895,391	112.7

① ゼネラルソリューションサービス

ゼネラルソリューションサービスにつきましては、エンドユーザービジネス、BPOビジネス、ノーコード・ローコード開発案件の受注が拡大いたしました。特にノーコード・ローコード開発案件では、IT人材不足の背景から需要が拡大し、取引が伸長しております。また、ノーコード開発プラットフォームのSmartDB®を提供する株式会社ドリーム・アーツとパートナーシップ契約の締結を行い、今後、更なる受注拡大を推進してまいります。令和6年2月15日付「組織の改訂および役員の変動に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、前期までは地域別の組織体制を編成しておりましたが、当期より会社全体の経営の効率化や経営管理機能の強化、リソースの弾力的運用の強化等を目的として「本部制」を敷いた結果、地域の制限なくリソースの全国活用が可能となり、受注の拡大につながりました。以上の取組みにより、ゼネラルソリューションサービスは順調に推移いたしました。

② インフラソリューションサービス

インフラソリューションサービスにつきましては、オンプレミスからクラウドまで、最適なサービス提供による事業を展開しております。利益率の高い要件定義、設計等の上流工程及び社内開発案件を軸に営業活動を行い、取引が拡大いたしました。また、AWSを中心としたクラウド関連の受注が順調に拡大しております。並行してAWSエンジニアの採用強化、育成・資格取得を推進し、動員力強化及び技術力の向上を図っております。以上の取組みにより、インフラソリューションサービスは順調に推移いたしました。

③ ERPソリューションサービス

ERPソリューションサービスにつきましては、SAP社とパートナー契約を結び、企業イベントへの協賛等を通じてパートナーシップを深化させております。SAPを取り巻く環境や最新技術トレンドを常にアップデートし、顧客それぞれにフィットするサービスを提供しており、特にSAP S/4HANAの新規導入案件及びアップグレード案件の受注が拡大いたしました。また、製造業向け生産管理パッケージシステムであるmcframeの案件も手掛けており、受注が拡大いたしました。連結子会社のノックス株式会社につきましては、奉行シリーズの他、ECサイトの構築をはじめとしたWeb事業で取引が拡大いたしました。以上の取組みにより、ERPソリューションサービスは順調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,895,391千円（前年同期比12.7%増）、営業利益は89,458千円（同34.9%増）、経常利益は91,276千円（同35.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61,258千円（同33.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は4,935,252千円となり、前連結会計年度末に比べ186,909千円増加（前期比3.9%増）いたしました。主な要因は、売掛金108,524千円の減少がありましたが、現金及び預金216,470千円、流動資産のその他に含まれる前払費用13,343千円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券38,291千円、繰延税金資産29,505千円が増加したことによるものであります。

負債は1,730,759千円となり前連結会計年度末に比べ180,057千円増加（同11.6%増）いたしました。主な要因は、買掛金21,058千円、流動負債のその他に含まれる未払金10,928千円の減少がありましたが、未払法人税等17,720千円、賞与引当金140,180千円、流動負債のその他に含まれる未払費用16,905千円、未払消費税等37,613千円が増加したことによるものであります。

純資産は3,204,492千円となり前連結会計年度末に比べ6,852千円増加（同0.2%増）いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金26,095千円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益61,258千円を計上した一方で、配当金81,439千円の支払を行ったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和6年5月8日の「令和6年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,913,095	3,129,565
売掛金	915,667	807,142
商品	147	397
仕掛品	48,605	44,738
その他	75,001	96,842
貸倒引当金	△38	△33
流動資産合計	3,952,477	4,078,653
固定資産		
有形固定資産	83,628	79,264
無形固定資産	13,461	12,285
投資その他の資産		
投資その他の資産	712,604	778,878
貸倒引当金	△13,830	△13,830
投資その他の資産合計	698,774	765,048
固定資産合計	795,864	856,599
資産合計	4,748,342	4,935,252
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,093	169,034
未払法人税等	65,102	82,823
賞与引当金	162,157	302,338
その他	473,490	516,766
流動負債合計	890,844	1,070,962
固定負債		
退職給付に係る負債	518,725	518,665
その他	141,130	141,130
固定負債合計	659,856	659,796
負債合計	1,550,701	1,730,759

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	404,398	404,398
資本剰余金	354,398	354,398
利益剰余金	2,255,774	2,235,593
自己株式	△342	△342
株主資本合計	3,014,229	2,994,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	199,333	225,429
退職給付に係る調整累計額	△15,922	△14,985
その他の包括利益累計額合計	183,411	210,444
純資産合計	3,197,640	3,204,492
負債純資産合計	4,748,342	4,935,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
売上高	1,681,219	1,895,391
売上原価	1,266,779	1,394,624
売上総利益	414,440	500,766
販売費及び一般管理費	348,110	411,308
営業利益	66,330	89,458
営業外収益		
受取利息及び配当金	957	1,005
その他	21	811
営業外収益合計	978	1,817
経常利益	67,309	91,276
税金等調整前四半期純利益	67,309	91,276
法人税、住民税及び事業税	61,028	71,431
法人税等調整額	△39,760	△41,413
法人税等合計	21,267	30,017
四半期純利益	46,041	61,258
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,041	61,258

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
四半期純利益	46,041	61,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,063	26,095
退職給付に係る調整額	1,874	937
その他の包括利益合計	31,937	27,032
四半期包括利益	77,979	88,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,979	88,291
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
減価償却費	5,191千円	5,683千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、システムソリューションサービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。